

主イエスと私⑪

「バルテマイ」

マルコ 10:46-52

メッセージ：竿代照夫牧師

彼らはエリコに来た。イエスが、弟子たちや多くの群衆といっしょにエリコを出られると、テマイの子のバルテマイという盲人のこじきが、道ばたにすわっていた。ところが、ナザレのイエスだと聞くと、「ダビデの子のイエスさま。私をあわれんでください。」と叫び始めた。

そこで、彼を黙らせようと、大ぜいでたしなめたが、彼はますます、「ダビデの子よ。私をあわれんでください。」と叫ぶ立てた。すると、イエスは立ち止まって、「あの人を呼んで来なさい。」と言われた。

そこで、彼らはその盲人を呼び、「心配
しないでよい。さあ、立ちなさい。あな
たをお呼びになっている。」と言った。
すると、盲人は上着を脱ぎ捨て、すぐ
立ち上がって、イエスのところに来た。
そこで、イエスは、さらにこう言われた。
「わたしに何をしてほしいのか。」

すると、盲人は言った。「先生。目が見えるようになることです。」

すると、イエスは、彼に言われた。「さあ、行きなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。」

すると、すぐさま彼は見えるようになり、イエスの行かれる所について行った。